

胃がん術後地域連携パスについて

- * 基幹病院で手術治療をされた患者さんに対して、お近くの連携医と基幹病院の両方で連絡を取り合い、術後の定期的検診を行っていくために作られた一連の書式（パス）です。
- * これにより、基幹病院への頻繁な通院が不要となり、通院の不便さや外来での長い待ち時間からも解放されます。また、複数の主治医によるサポートが受けられる長所が生まれます。
- * パスについての詳細は「結日記」をご参照ください。

通院の基本

- * 通院の基本は、処方や血液検査など通常の通院は連携医で行い、基幹病院へは半年～1年に一度、画像検査のために受診します。
- * 再発の危険性は術後1～2年をピークに年々減少し、術後5年間再発がなければまず完治と判断します。
- * どちらに通院する場合も、このパスを必ず持参してください。
- * 病気が再発したり新たな疾患が発見された場合は、このシステムを中断して基幹病院へ通院していただきます。

あなたのデータ

*手術年月日 (年 月 日)

*術式：開腹、 腹腔鏡

(完全補助下、用手補助腹腔鏡下 (HALS) 腹腔鏡補助下 ロボット手術)

幽門側胃切除 幽門保存胃切除

胃全摘術 (+脾臓摘出、 +脾脾合併切除)

噴門側胃切除 脾頭十二指腸切除

その他 ()

*病理学的ステージ

ステージ I A、 ステージ I B、 ステージ II A、

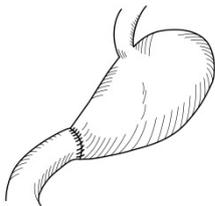
ステージ II B、 ステージ III A、 ステージ III B

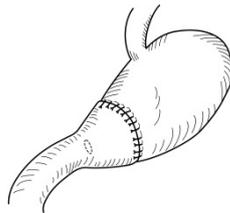
ステージ III C、 ステージ IV

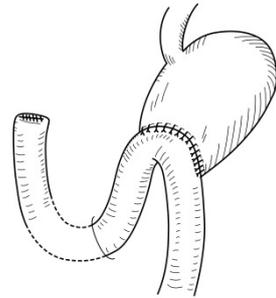
*術後の抗がん剤投与

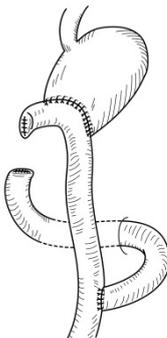
あり (TS1、 XELOX、 TS1/ドセタキセル)、 なし

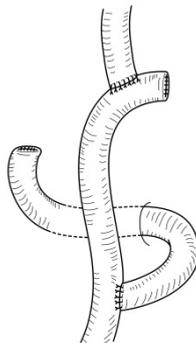
術後の状態

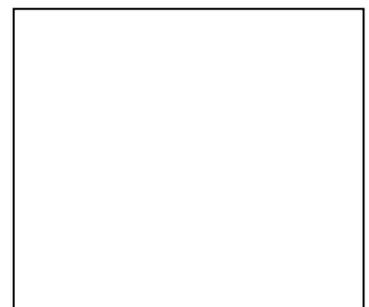












その他